

中部支部学自研事業報告 (2025年1月～6月)

1. カート走行会

2月18日にISK浜名湖店で開催し、6大学から計22名が参加した。事前ミーティングを行い、当日のスムーズな進行、安全対策を図った。

ICVとEVカートの比較走行をして、それぞれの車両の特徴を感じてもらい、意見交換をすることで車両への理解を深めるよい機会になった。

EVカートは、デンソー様、トヨタバッテリー様、FCC様からご提供いただきEVカートの中でもモーター出力など比較走行、実感することができた。



FCC様のEVカート



トヨタバッテリー様のEVカート



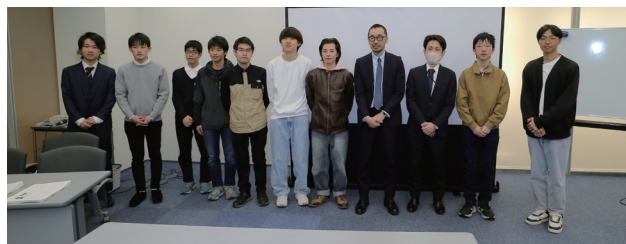
EVカートを前に技術交流の様子



カート走行会参加の皆さん

2. 学術研究講習会

3月10日に刈谷市産業振興センターで開催し、9名が参加した。空力技術開発に関する講演をスズキ株式会社の三浦淳史様、鈴木仁志様、岐阜大学OBの小堀貴俊様からご講演いただき、学生の車両開発への見識を深めることができた。



学術研究講習会参加の皆さん

3. レーステスト見学会会 (スーパーフォーミュラカー)

2月17日、3月7日に鈴鹿サーキットで開催。2月17日は、35名参加のレースチームとの座談会で知識を深め、3月7日は他支部からの参加も含め31名参加し、実際の迫力あるスーパーフォーミュラカーのテスト走行を特別に見学、モータースポーツへの興味関心を高めてもらえた。



スーパーフォーミュラカーチーム座談会の様子

4. 北陸交流会

3月12日に金沢大学で開催し、33名が参加した。本イベントは学生フォーミュラ活動を通して培った知識や技術、チーム運営について共有し、これからのチームの発展や問題改善につなげてもらうことを目的に行った。

各チームの状況を共有し、各班で話し合いをしたことで普段の活動では得られない知見を得ることができた。

5. 安全講習会#1

5月24日にオンラインで開催。9大学から30名の参加。学生フォーミュラの普段の活動や製作での安全管理と試走会における安全管理の習得を目的として、製作期からテスト走行期に移行する時期であったため安全意識を高めてもらうよい機会になった。